	<p>としま けもんじょ ひがしほんむら こうしんとう <b>「豊島家文書」「東本村の庚申塔」が区登録文化財に！</b> ～文化遺産を守り、後世に引き継ぎます～</p>
と き	2月21日(火)登録
<p>21日、練馬区教育委員会は、「豊島家文書」「東本村の庚申塔」を区登録文化財とした。 区では、かけがえのない文化遺産を守り後世に引き継いでいくために、昭和61年3月に「練馬区文化財保護条例」を制定し、文化財の指定・登録を行っている。</p>	

### 【新たに登録した文化財】

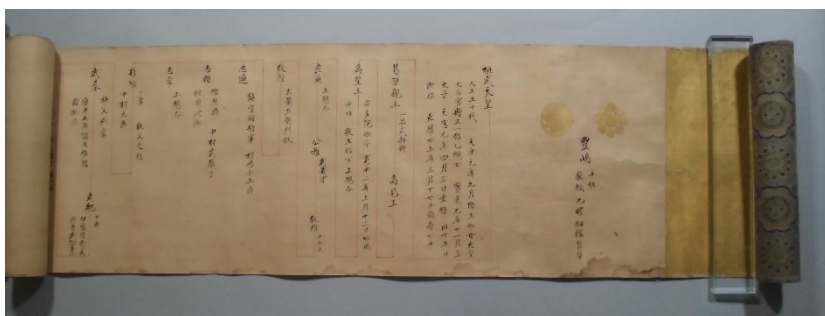
#### ● 豊島家文書（所在地：石神井町5-12-16 石神井公園ふるさと文化館、非公開）

江戸幕府の旗本で、元禄12年(1699)に氷川神社(石神井台1-18)へ石燈籠を奉納した、豊島としま泰盈やすみつの子孫である豊島家に伝わった文書類25点。系図1点、過去帳1点、その他の江戸時代の文書類5点、明治時代以降の文書類18点。系図は泰盈によって作成され、桓武天皇を祖として、石神井城主である豊島泰経などの事績が記されている。その他、幕府の旗本であった時期の屋敷図、明治維新後に浜松県の教員を勤めた関係の文書類などが残る。令和4年に練馬区に寄贈され、石神井公園ふるさと文化館で保管されている。

同館で資料の一部を3月18日から5月14日まで展示する。

#### ● 東本村の庚申塔（所在地：平和台1-4、公開）

貞享2年(1685)9月に、下練馬村本村の庚申講10人によって造立された庚申塔。総高143.3cm。正面は邪鬼を踏む青面金剛像しょうめんこんごうぞう、その下に三猿が浮彫される。像の向かって左側に造立年月と当所の地名、向かって右側に造立趣旨が陰刻される。三猿の下部は、中央に造立者10名の氏名、左右に鶏の図が陰刻される。令和4年に練馬区に寄贈された。



▲豊島家文書



▲東本村の庚申塔

### 【参考】指定・登録文化財について

指定・登録候補の文化財は、区が事前調査を行い、練馬区文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録する。なかでも特に価値が高いものが、指定文化財となる。今回の登録により、区の登録文化財は219件、そのうち指定文化財は49件となった。